大祓詞（大正三年より前の旧版）

（現行版との相違点は二か所ある。

一.「」を「あらぶるかみども」と読む。

二.「」八種　「」十三種　を具体的に列挙して唱える）

にまりす　のて　をへにへひ　りにりひて　は　を　とけくせと　さしりき　くさしりしに　をば　はしにはしひ　へにへひて　ひしのをもめて　のち　のを　のにて　しさしりき　くさしりしのと　のをとめりて　にきて　にりて　ののへりて　ののとりして　とけくさむ　にりむのが　ちしけむのはとち　　ち　　　　　のをとて　とは　　　　がせる　がせる　ととせる　ととせる　せる　のひ　のひ　のひ　しる　のむ　くばちて　をちりちちて　のにはして　をりちりりて　にきて　のをれ

くらば　はのをきて　のをのにてさむ　はののにりて　ののをきけてさむ　くしてばとふはらじと　のののをきつのく　ののをのきふのく　にるをきちきちてにしつのく　のがを

のちてちふのく　るはらじとへひめふを　ののよりにちつ　のにすとふ　にでなむ　くでなば　のののののにすとふ　ちみてむ　くみてば　にすとふ　にちてむ　くちてば　にすとふ　ちひてむ　くひてば　とふはらじと　へひめふを　※のにせとみみもす

※天津神国津神八百万の神等共に聞食せと白す

宮地神仙道では、この末行を「天津神国津神祓戸の神等共に聞食せと白す」と読み替えて奏上している。